

はるかせ やまゆり荘

第71号
平成30年5月10日
社会福祉法人
春風会

〒377-0433 群馬県吾妻郡中之条町折田 2515 TEL.0279 - 75 - 6517

平成30年度

春風会運営にあたって

理事長 南波 和憲

青葉の季節となってまいりました。本年は例年になく早い春の訪れでした。やまゆり荘の周辺も花桃に始まり桜やレンギョウと花が変わり青葉の清々しい季節となっています。

平成11年4月のオープン以来今年は20年目を迎えました。

この間、介護保険のスタートに伴い様々な分野で民営化が推し進められ、また昨年には、社会福祉法の改正に伴い社会福祉法人の役割を明確化する動きが顕著になっています。

社会福祉法人では単なる介護の仕事以外に地域社会への貢献が必要とされて来ています。私も春風会としても「地域公益活動推進室」を設置し取り組みを始めようとしています。例えば「どうすれば福祉施設を利用できるか、あるいは老後の環境をどう整えていくか。」などの課題や「災害発生時、やまゆり荘が避難場所の1つとして障害のある方や高齢者の収容施設として活用出来ないか。」といった事を検討し行政当局や社会福祉協議会と連携を取り、その役割を担っていきたいと考えております。

2025年問題と言われる状況があと7年後に近づいています。これは団塊世代といわれる、人口の極端に多い昭和22年から24年生まれの方々が、後期高齢者75歳となることを意味しています。これまで社会の働き手として、また老人介護の担い手として活躍していた世代が介護される側となっていきます。

当面これらの現象をしっかりと受け止め事業運営を進めていかねばならないと考えております。

本年度もまたご利用者をはじめ地域の皆様に安心をお届け出来るよう努めて参りますので指導とご鞭撻をお願い申し上げます。



折田獅子舞来荘

のぞみ・めぐみグループ



2月3日、今年も節分の豆まきをしました。

朝から「今日は鬼が来るから・・・」と楽しみにしている利用者さんもいました。

いざ、鬼が登場すると鬼に向かって「鬼は外」と元気よく豆を投げる様子もみられ、皆さんの元気いっぱいの笑顔が見られ良かったと思います。

これから暖かくなる季節。外出、散歩などを通じて皆さんが楽しみを持って日々の生活を送って頂けるよう努力していききたいと思います。

看護係 唐澤 政明

節分



デイサービス



冬期間中は寒さく加え例年インフルエンザや感染性胃腸炎等の感染症が流行するため、外出レクができません。そのような状況の中でご利用者様にとって楽しく季節感を大切にしたレクを企画しております。今年は1月23日から25日に「手作りおしるこ」2月1日から15日に「お風呂の日」を行いました。おしるこは、上新粉を使用し、食べやすいよう柔らかいお団子を作りました。できたてのあつあつが目に出されると目をキラキラさせ、笑顔が溢れていました。「美味しいね」「甘さも丁度いいね」などお褒めの言葉と共にたくさん召し上が

おしるこ
お風呂の日

っていただきました。

お風呂の日は入浴剤を2種類用意しました。「体が温まってポカポカするよ。」「香りも良いし、気持ちが良いね。」と湯船ではご利用者様同士の会話も弾まれ、普段よりゆっくりと入られていました。心も身体が温まり穏やかなひと時を過ごせたようです。

今後も皆様楽しんで頂けるよう工夫し、季節感のある行事やレクを提供していきたいです。

デイサービス看護係
石坂 有実子



ケアハウス

ひな祭り



2月の中頃から、ケアハウスでは食堂の一角にお雛様を飾りました。

華やかなお雛様を目にする度にご利用者様からも職員からも『あかりをつけましょ

♪』と自然とお雛様の歌が出てきます。1人が歌い出せばもう1人、また1人、と気がつけば小さな合唱に。

冬の寒く閉ざされた季節でしたが、華やかなお雛様のおかげで皆様の心も明るくなっていました。

3月3日のお雛様当日には皆様で歌を歌って、お寿司を取って、桜餅を食べて、華やかにお祝いも出来ました。

片づけの日には皆様にお手伝いをして頂きながら、一体、一体、感謝を込めて仕舞いました。

お雛様の無くなった食堂を見て「寂しくなったねえ」との声も…また来年、皆様揃って楽しい雛祭りを迎えられると良いなと思いました。

ケアハウス 蟻川 小百合

めぐみグループ

お風呂の日

3月28日に今年度最後の風呂の日が、行われました。

いつも、「今日は風呂はよしとく。」と言うT様。「四万のお湯が届きますよ。」とお伝えすると、笑顔になり「じゃあ入らせてもらおうか。」とすんなり浴室へ向かわれました。また、地元にくわしいY様も「四万のお湯は82度あるんだよ。」と教えて下さいました。入居者の皆さんはお風呂を楽しみにされていました。

入浴後H様は「あー！気持ちよかった。お風呂はご馳走だわ。」と笑顔で心も体もすっかり癒されておりました。

前日から準備に当たられた職員。

当日早朝からお世話になりました、春和会の林様、関様、蟻川様本当にありがとうございました。

サブリーダー 柏原 真理子



特別養護老人ホーム

防災訓練



平成 29 年度第 2 回の防災訓練を 3 月 25 日（日）夜間想定で行いました。

まず地元の消防団の方たちに施設を見学して頂き実際に火災があった際注意する点や避難経路の確認をして頂きました。始まる前は誘導方法等頭の中で整理できていたことが訓練が始まると緊張感につつまれ普段出来ていることが出来なかったりすることがあるのでいかに落ち着いて冷静に判断できるかが大切になってきます。

今回も地元の消防団の方 19 名に立ち会って頂き行うことが出来ました。初期消火訓練、通報訓練、避難誘導訓練を行いまし

た。また、新入職員に屋内散水栓、消化器の取り扱いを業者の方から指導して頂き実際に体験をしてもらいました。

意見交換会では消防団の皆様より具体的な意見をいただいたので今後に生かしていきたいと思います。

最後になりましたがお忙しいところご指導頂きました消防団の皆様ありがとうございました。災害時には迅速な行動がとれるよう普段から心がけていきたいと思いま

介護課長 小泉 明弘

編集
後記

昨年の 10 月から栄養士として入社し、早いものでもう半年が経ちました。
ご利用者が「食事がおいしい、楽しみ」と言ってもらえるようなお食事を作っていきたいと思いますので、今後ともよろしくお願い致します。

栄養士 萩原 正光